寺内社福協だより

第35号
寺内地区社会福祉協議会
（寺内地域センター内）
TEL 845－0537

あけまして おめでとうございます

寺内地区社会福祉協議会
会長 亀井宥三

近年にないおだやかな元日でした。今年の干支は癸未（みずのとひつじ）「静観して時の至るをまつべし」とあります。平穏な一年であることを祈りたいものです。

おかげ様で寺内社会福祉協議会も年次計画のもと、すすめられ、社協役員、民生委員、町内会長、それぞれのご協力により、二月の見廻り協力員の方々との合同研修を残すのみとなりました。

九月十三日、将軍野地区の敬老会に出席させていただきました折、高清水小学校の五年生の生徒さんのお祝のことばの中に、「私達は毎年おじいさん、おばあさん達と竹トンボ作りや、お手玉作りをしております。とても楽しいです」とのお話がありました。私達のこの行事が定着し喜ばれていることが、うれしく思いました。

施設見学では「ウエルビューいずみ」で、いろいろ勉強させていただきました。保育所、小規模作業所、高齢者のハウスが、三位一体それぞれに処を得、喜んで働いておられる姿に感銘を受けました。特に交流スペースで喫茶に立ち働く子ども達の真摯な姿に心を打たれました。

二月には新装なった寿光園で職員の方々のご協力をいただき、私どもの合同研修を予定しております。たくさんの方々のご参加を、お待ちいたしております。

みなさまの善意にささえられ、本年度の、行事もとどこおりなく終わらせていただけることを心より感謝申し上げます。

笑顔

寺内地区社会福祉協議会
副会長 髙橋利治

去る十一月三十日(土)、リンデンバウムいずみのご厚意によって、昨年に引き続き体験ディサービスを実施させていただきました。寺内地区社協で七十五歳以上の一人暮らしの方は昨年より十数名の増加で八十数名となりました。その約一割の八名（内一名欠）が申込み参加されました。

実施日が昨年よりさらに遅くなって十一月の末日で、当日の天候が非常に気がかりでした。幸いにも参加者の精進が良かったのか、朝は少し冷え込みましたが曇天で、日中は時々陽も差したりの天候に恵まれ主催者側としてほっと致しました。参加者のサポートとして私と女性民生委員一名が同行致しました。

到着してから当日のスケジュールを中山看護師からの説明を受けた後、参加者の自己紹介がありました。感心した事では、皆んな毎日規則正しい生活を送っておられる事でありました。そしてなるべく歩くこと。屋外に出るよう努めていること。早起きの励行。食事のメニューにメリハリをつけているという事であります。参加された方々は皆んな達者で七十五歳以上とは思われないような元気な方でありました。

美味しい昼食をいただいて後、一休みしてから今回は全員入浴体験をされました。女性の方の中では、背中を流して貰った事は何十年ぶりだと感謝されて目を細めておられた笑顔が美しかった。そして気持が良くなってこのまま床り入りたい気分になったと言っておられた。自分の娘さんのような若い方から手助けして貰ってすっかりリラックスされたようであります。

最後に男女別に別かれてゲームをやりました。表裏異なる色のカードを時間内に如何に多く決められた色にする事が出来るかのゲームであります。ゲーム開始となったら歳を忘れて昔の杵柄の闘志が満ちていたように見受けられて、健康状態が良好である事を証明してくれたような気がしました。明るい印象と思うのは、参加している私が老境に入っているからなのでしょうか。

帰りにはひとあし早くクリスマスプレゼント（スマートな常緑草）を頂き、午後二時三十分ころ今朝と同様に同じ車両に分乗してさわやかな顔をして帰路につかれました。参加された方は本当によい体験をされたものと思います。これからの一助になれば幸いであります。

当日は休日にもかかわらず宮本施設長はじめスタッフの方に本当にお世話になりました。寺内地区社協の者ばかりであったので、ゆっくりと気兼ねなく懇切丁寧に施設内の見学と説明していただき厚くお礼を申し上げます。貴いずみ会の益々のご繁栄を祈念いたします。

以上。

歳末の町に広がる善意の輪

赤い羽根　一、一二四、七〇二円
歳末募金　四七〇、五六一円

昨年の秋以来、地区の皆様にご協力をお願いしてまいりました共同募金並びに歳末助け合い募金についてご報告申し上げます。

赤い羽根共同募金

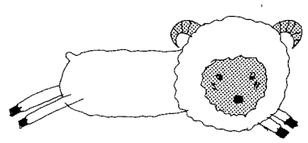
町内関係	一、〇〇二、三四〇円
企業法人関係	七四、五五〇円
学校関係	四六、七九一円
その他	一、〇二一円

寺内地区目標額を上回り、市共同募金会に納入致しました。

歳末助け合いにも、表のとおり皆様の善意が寄せられました。

当協議会では、十二月十七日に町内会長・民政児童委員・社会福祉協議会の合同会議を開き、地区内の五二世帯と二福祉施設に配布いたしました。

以上の二募金にご協力くださった皆様ならびに取り扱いに参加された各位に対し心からお礼申し上げます。



○町内・法人並に学校各位のご協力に心から感謝申し上げます。

平成14年度「赤い羽根」共同募金実績表「歳末たすけあい募金」実績表

町内会名	共同募金	歳末募金	町内会名	共同募金	歳末募金
寺内一区	52,200	68,066	幕洗川一区	77,102	10,000
寺内二区	30,120	6,000	幕洗川二区	135,000	45,250
寺内三区	36,000	8,500	幕洗川三区	113,400	44,680
寺内四区	60,000	12,000	高野一区	98,650	30,525
寺内五区	42,000	17,910	高野三区	14,650	16,980
高清水町	85,918	54,537	町内会合計	1,002,340	470,468
高清水団地	25,000	16,260	法人関係	74,550	
浜丘町	107,300	88,875	学校関係	46,791	
児桜町	40,000	34,085	地域センター募金箱	1,021	93
児桜新生	68,000	10,000			
高台町	17,000	6,800	14年度総額	1,124,702	470,561

「合同研修会のお知らせ」

日時　平成十五年二月十九日(水)
　　午前十時（現地集合）
会場　高清水寿光園

○善意のお礼申し上げます。

当会に、香典返しとして、ご芳志を賜りました。

土田正様、土田ヨミ様　寺内字焼山七十八
一〇〇、〇〇〇円　亡ご子息　土田一夫様
故人のご冥福をお祈り申し上げます。

あとがき

地区の皆様には、お元気で新年を迎えられ、心からお喜び申し上げます。

今号の発行に際し、亀井会長さん、高橋副会長さん、星野さん、土田さん、大友さん、高清水小の生徒さんからご協力を頂き、心からお礼申し上げます。

今年も容易ならざる年のようですが、皆々様にはご健康にご留意され、ますますのご発展をお祈りいたします。

又次回の会報発行の際は、何卒倍旧のご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

（米沢）

感想文
体験デイサービスに参加して

星野金造

元来、会合に出るのが億くうな方であるが、このたびの体験デイサービスには出席してみようと思っていました。介護も身近かに考えさせられるような年令に達したせいかも知れません。当日は天候もよく、特別養護老人ホームリンデンバウムに定刻に着き皆様の暖かい歓迎を受けて入所でき大変気分がよかったと感謝しております。

次に、施設到着後は手際よくスケジュールをこなされ気持よく行動できたと思っております。また自己紹介にあっては、同じ町内に住みながら、このような機会に話し合いや行動を共にできたのが大変有意義であったと思っております。

しかし、このような立派な施設の運用は、色々の制約があることも判りますが、介護の検定または入所の順番待ちなど色々難問題もあることも分かりました。それで自分の身体が自由がきく間は現状の一人暮しは最適であろうと考えてしまふわけであるが、この現状が変化した場合は必ず施設に依存せざるを得ない事態になってしまうので、施設の増設及びこれらの運用緩和の話になってしまうのではないか。

これからは老令化と介護問題は、身近な重大事として取組んでいきたいと思います。

感想文

土田吉男

平成十四年十一月二十八日泉の介護施設に行きませんかと町内会長からお誘いが有りました。当日私共三名を乗せ車はその介護施設に到着しました。立派な施設で暖房が効いて住み心地の良い素晴らしい所だと思いました。先着の仲間が私達を待っていた。皆揃った所で自己紹介が始まりました。皆さんは寺内の人達だから知っている人達だと思っていたが何と顔が変って思い出せなくて困ってしまいました。紹介が進むに連れ少しづゝ、昔の顔が思出され何とか解ったような気がしました。施設担当員が細かい内部の説明に入りました。将来こんな立派な所を利用出来る人は幸せだと思いましたが私の将来は解りません。自分の体の自由が効くうちは入る気にはなれないと思いました。話に依れば施設に入る事は容易でなく順番があって何年も先になると云う。体を悪くした時は医師や施設事務等に任せる事が一番良いのかなあと思いました。でも必ずこの施設のお世話になる事はないと思った。何時迄でも健康を維持するように努力する事こそ大切だと思いました。今日は始めて施設の食事をとりました。専らコンビニ等利用する出来ない献立でした。専らコンビニ等利用する者は縁のないものだと思った。それも出来ない時はこの施設の食事を思い出すだろう。食事の後は介護設備を見学した。浴場の中は素晴らく行き届いた洗浄場は流石に工夫された所だと感心しました。この見学の後は入浴を体験しました。介護師さん達の心の籠った入浴のお手伝いで気持がゆっくりした。その後簡単なゲームを楽しみました。今の時代国や県でこう迄老人を面倒見るなどは今昔の感が拭い去れません。而し寄る年波には勝てない。若しかして自分の施設入りが将来有るだろうか無いだろうか、何となく不安の心がよぎります。

お陰様で介護センターの半日が終りました。態々車で自宅前迄送って貰いました。有難うございました。

「ウエルビューいずみ見学記」

高野三区　米沢章

昨年暮、「リンデンバウムいずみ」に隣接して新設された「ウエルビューいずみ」の見学会に参加してまいりました。

この施設は、市が奔走して省の壁を破って開設した全国でも例のない福祉複合施設です。一階が保育所（60名）二階が通所授産施設（40名）三階が生活支援ハウス（20名）となっております。

全階とも木材をふんだんに使用し、利用者の気持ち充分に考慮した暖かい感じのする、施設です。

一階の保育所はオール木材を使用されて、遊具も立派なもので、孫がいたら是非入所させたいなと思った位でした。

一階の子供達と三階のお年寄りとの交流も期待されます。

又一階の交流プラザは市民にも開放されており、市民がこの施設を上手に利用することにより、相乗効果が生まれることが期待されます。

是非ご一見をおすすしたい施設でした。

お手玉作り

竹トンボ作り

「竹とんぼを教えてくださった」先生方へ

高清水小学校　五年白組　明珍慶太

寒い中、教えにきてくれてありがとうございます。ぼくは今まで竹とんぼを作ったことがないので、とても楽しみでしたが、うまく作れるかどうか心配でした。

最初に、羽をけずりました。

先生方が「けずるときには、羽をななめにたててけずるといいよ」と、やさしく話してくれましたね。

羽は、両方同じにしないと、上に高く上がらないので、たいへんでした。

自分でけずった竹とんぼが完成したときは、本当にうれしかったです。

今は、友達と仲よく、竹とんぼで遊んでいます。

ありがとうございました。

「お手玉を教えてくれた先生方へ！」

高清水小学校　五年赤組　小黒友希

私は、お手玉を作るのが初めてだったのでワクワクしていました。

「どんな先生なのかなぁ」「お手玉はどうやって作るのかなぁ」っと学校にくる前からそう思っていました。

ホールにならんでいる時、はくしゅの練習を2回もしました。

そして、先生方が入場してきました。

見ただけでやさしそうな先生だなぁと思いました。

お手玉を作る時は、1つ目はうまくいったんだけど2つ目は、ちょっとしっぱいしてしまいました。

でも、先生方からいろいろなことを教えてもらっていい思い出になりました。

ありがとうございました。